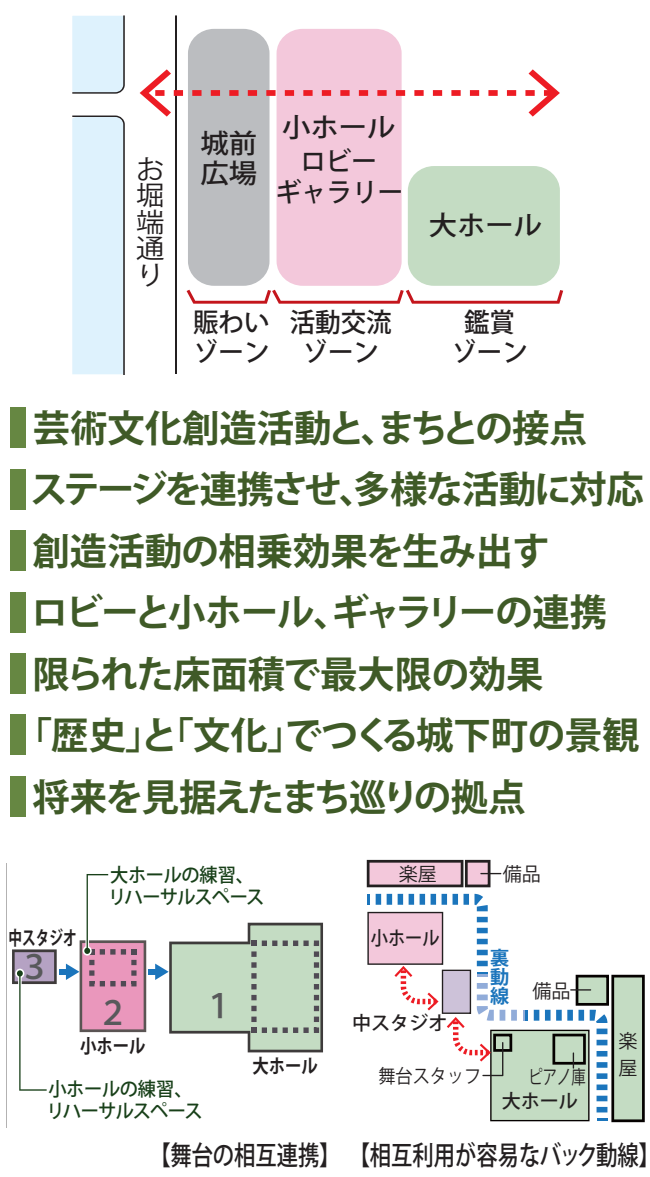


7つの「ステージ」がつくる芸術文化創造活動の拠点

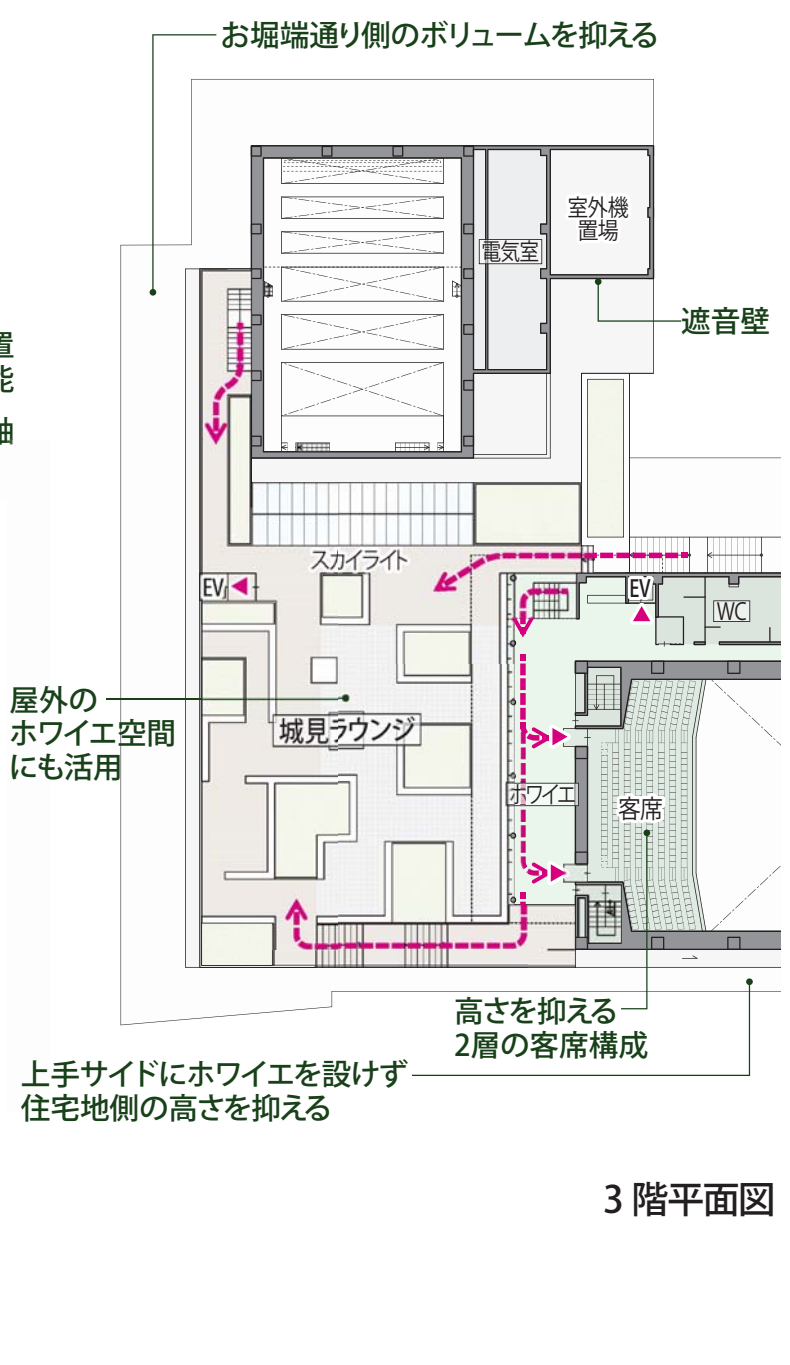
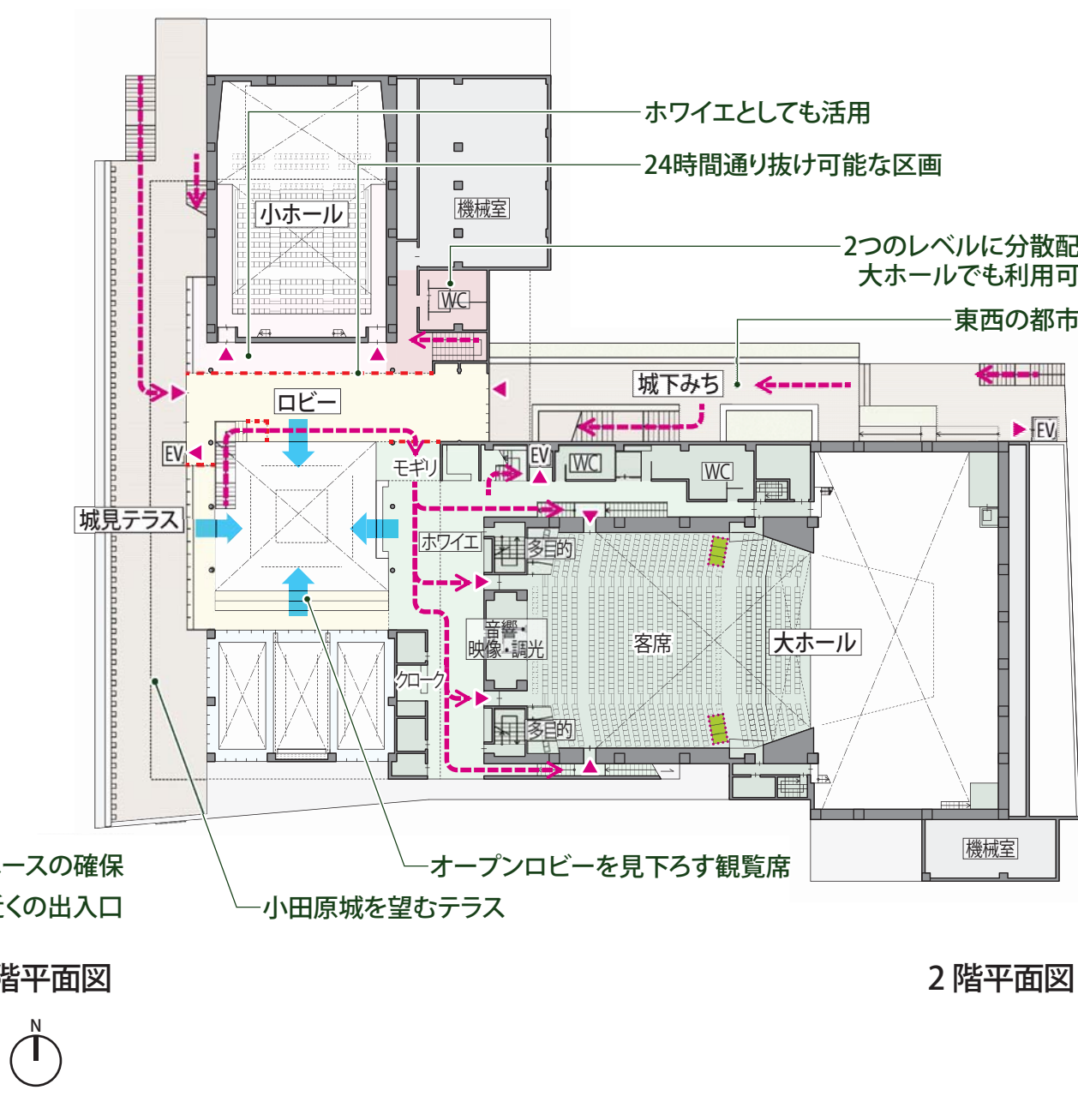
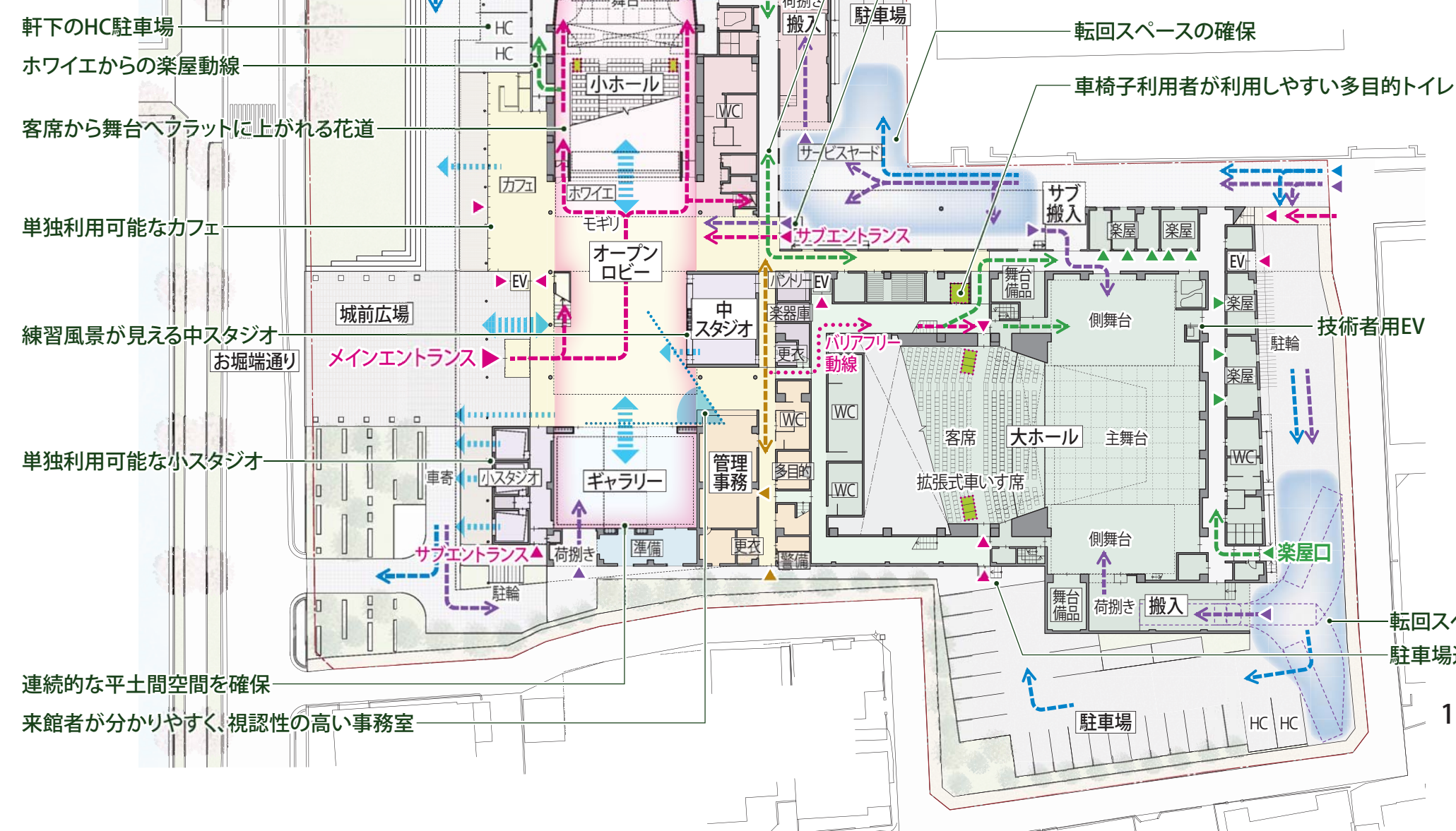


深い軒を積層させたお堀通り側外観

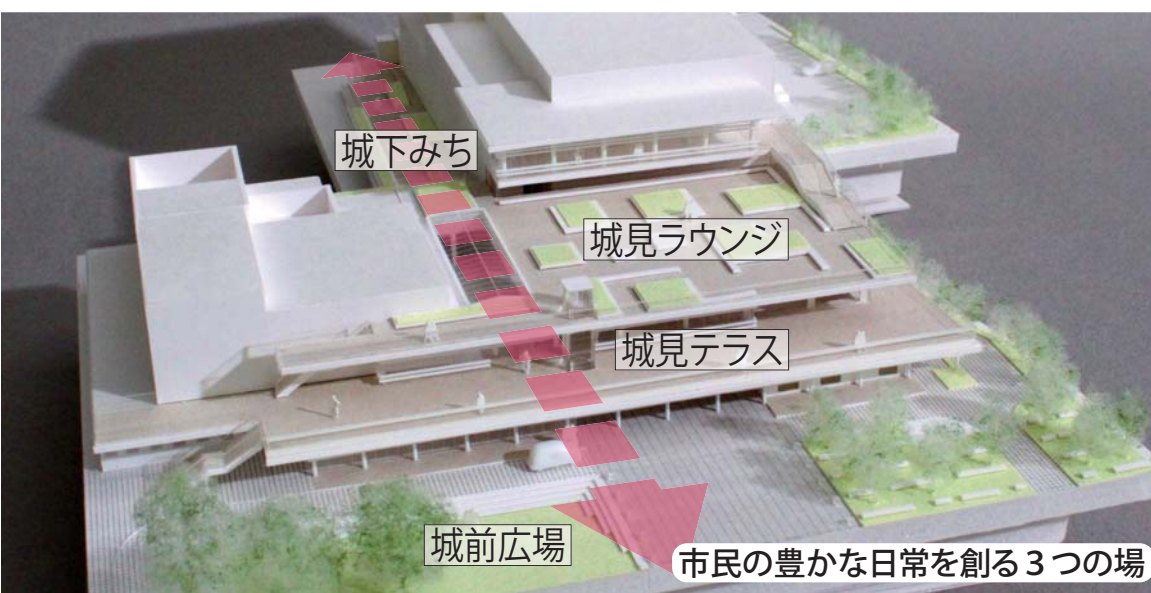
7つのステージと3つの軸が、多様な市民の活動を受けとめ
各機能が連携して活動の相乗効果を生み出します



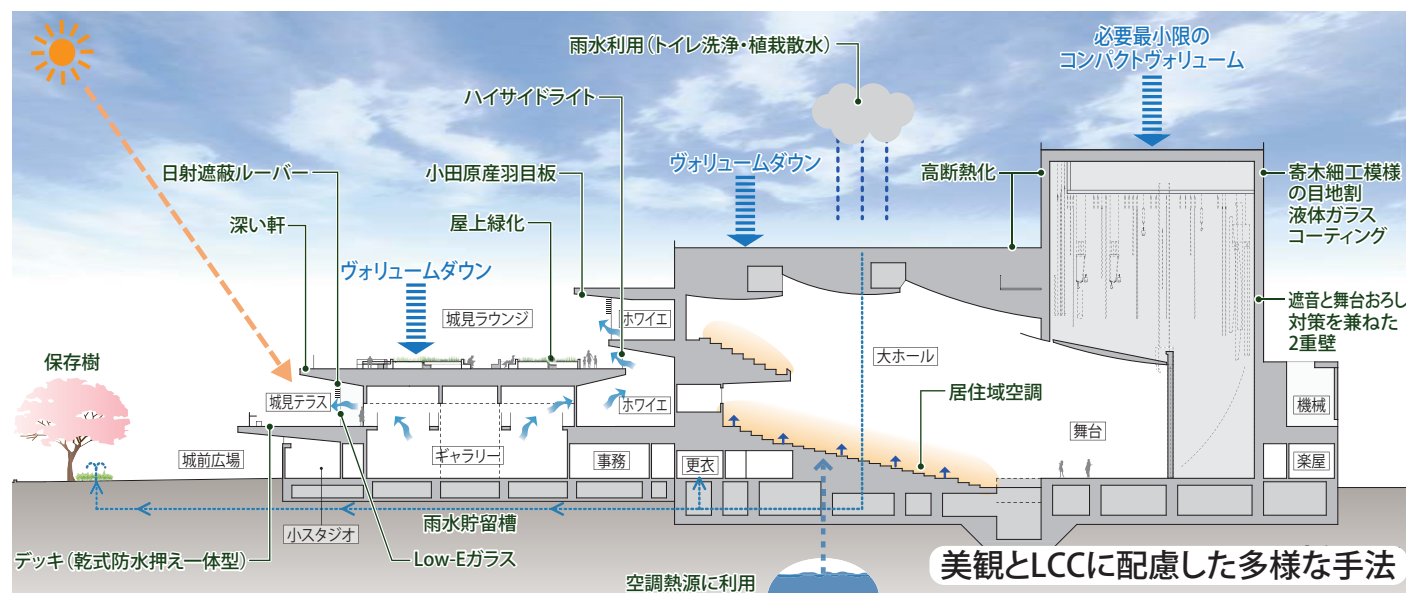
- 芸術文化創造活動と、まちとの接点
- ステージを連携させ、多様な活動に対応
- 創造活動の相乗効果を生み出す
- ロビーと小ホール、ギャラリーの連携
- 限られた床面積で最大限の効果
- 「歴史」と「文化」でつくる城下町の景観
- 将来を見据えたまち巡りの拠点



テラスを積層させた国道1号側



市民の豊かな日常を創る3つの場



美観とLCCに配慮した多様な手法



次世代の城下町の景観



小田原提灯をイメージした夜景

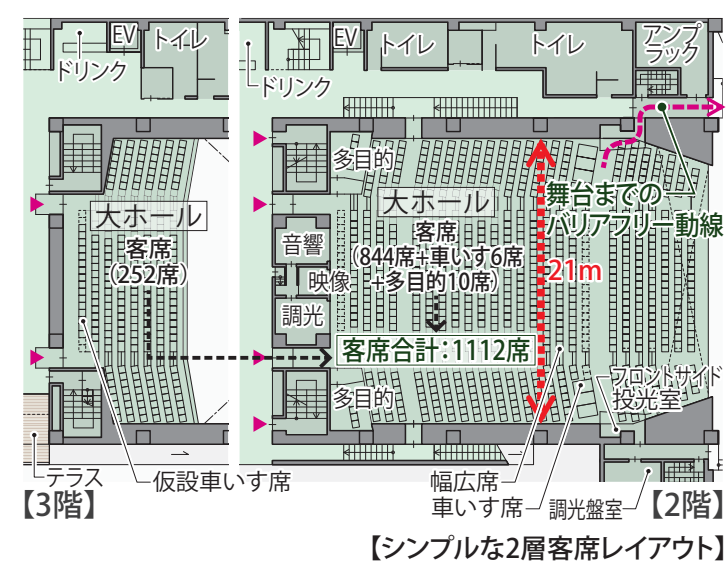
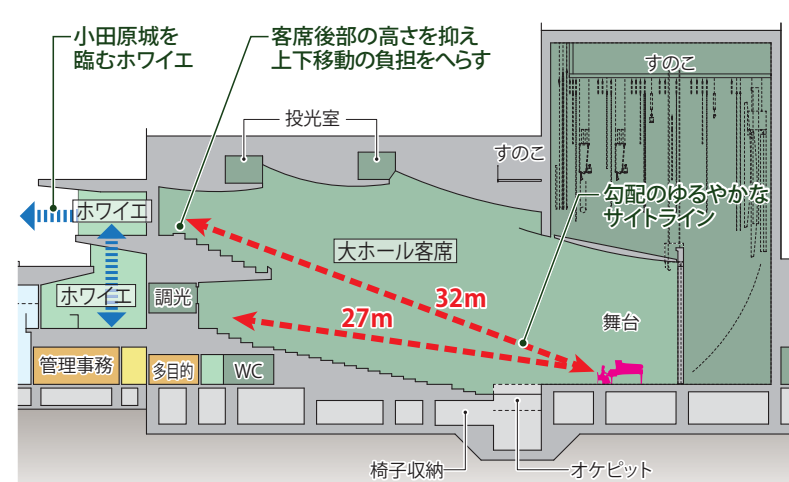
7つの「ステージ」がつくる芸術文化創造活動の拠点

1. 大ホール



公演をサポートする舞台空間やバックヤードと、観客が舞台に集中できる客席により、ともに舞台をつくり感動を共有する、芸術文化の「ステージ」

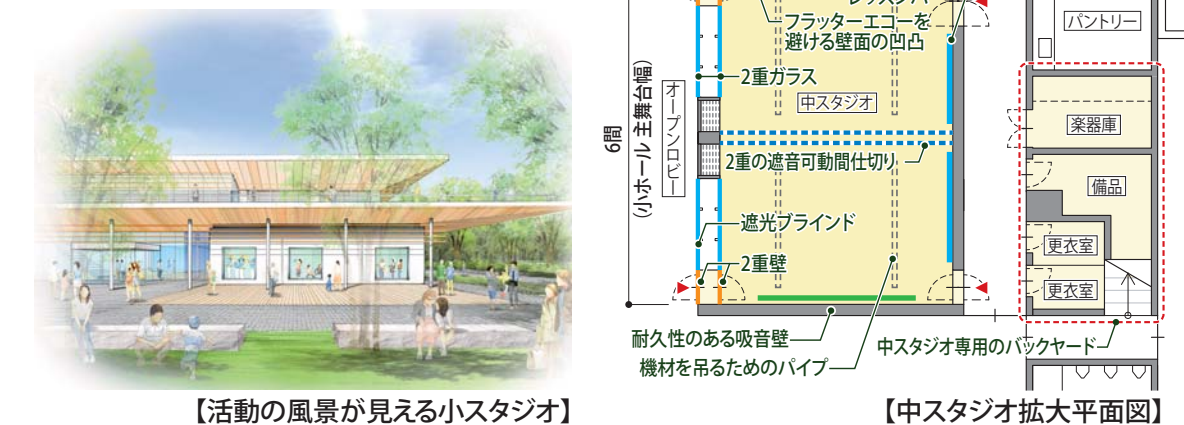
- シンプルで鑑賞しやすい客席空間
- 多様な演目に対応する舞台空間
- 小田原城郭のパノラマビューが広がるホワイエ空間
- 出演者や舞台スタッフの活動を支えるバックヤード
- 多様な空間可変を簡易に実現する舞台設備
- すぐれた音環境の創出



3. 中スタジオ

小田原の芸術文化活動を刺激し、市民の芸術文化活動のステップアップのための「ステージ」

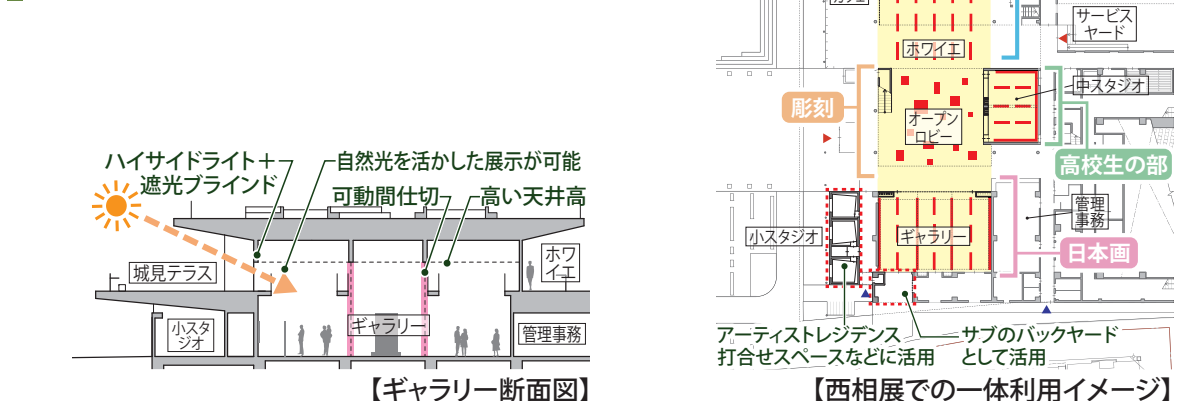
- ホールをサポートする多目的利用の中スタジオ
- パート練習や録音にも対応できる小スタジオ
- 音や振動の伝搬を抑制した最適な音環境
- 芸術文化活動をまちに発信



4. ギャラリー

展示機能を充実させ、ワークショップやミニコンサート、パフォーマンスにも対応できる市民活動の「ステージ」

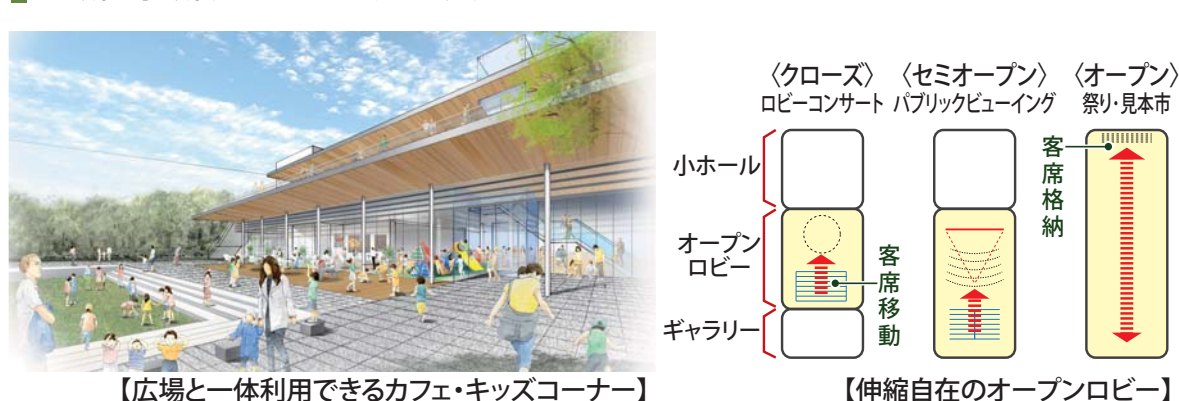
- 充実した多目的スペース
- 市民が使いやすい、多機能な展示空間
- 可変性と拡張性を備えた展示空間
- 展示の妨げにならないプレーンな内装



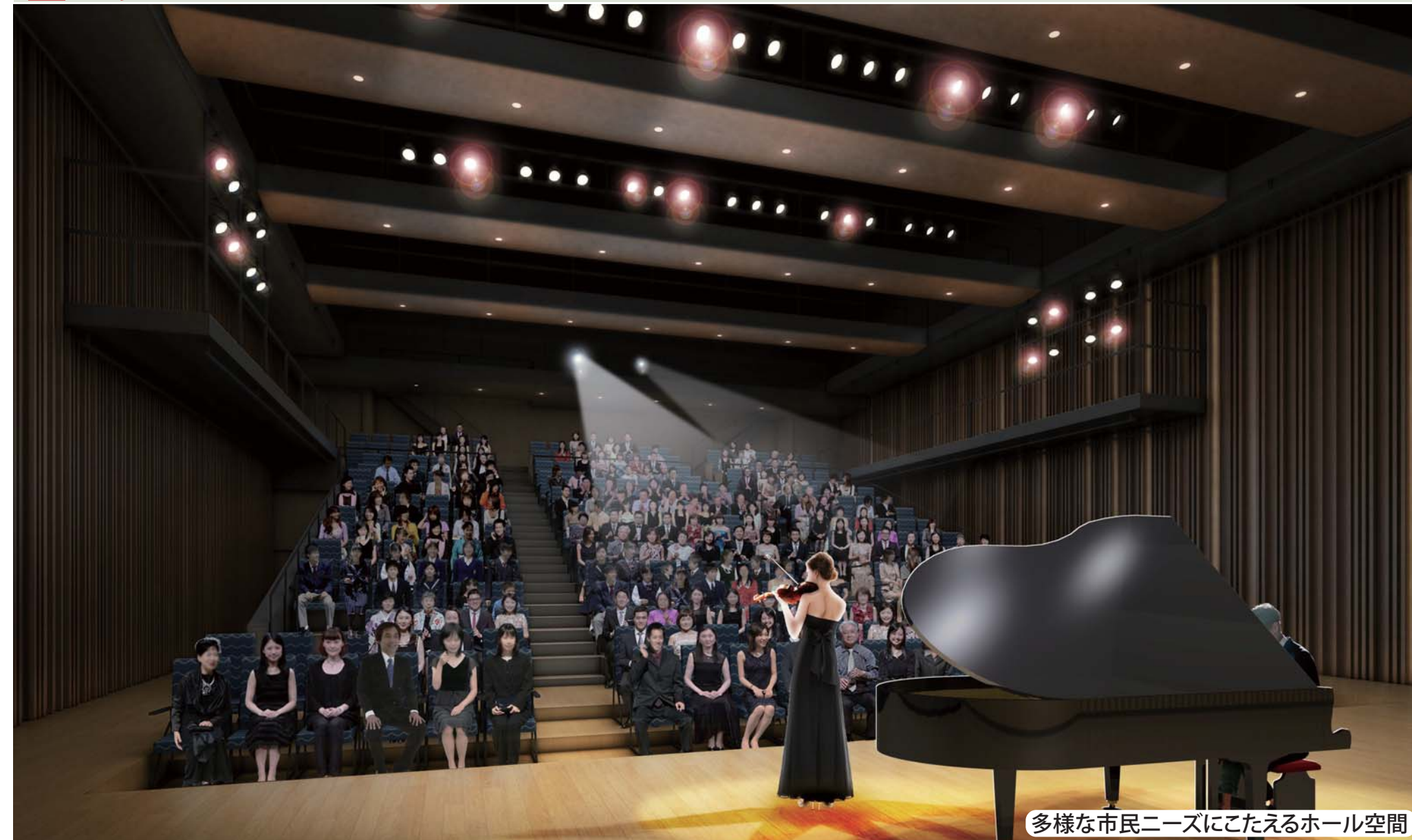
5. オープンロビー

様々な人々を迎え入れ、地元の観光・産業・教育と連携し、市民ホールのシンボルとなる多目的な「ステージ」

- にぎわいを生む一体的な交流空間
- 市民や来街者が気軽に立ち寄れる施設
- 移動型客席による可変性
- 登城・下城する人々を迎え入れるカフェ

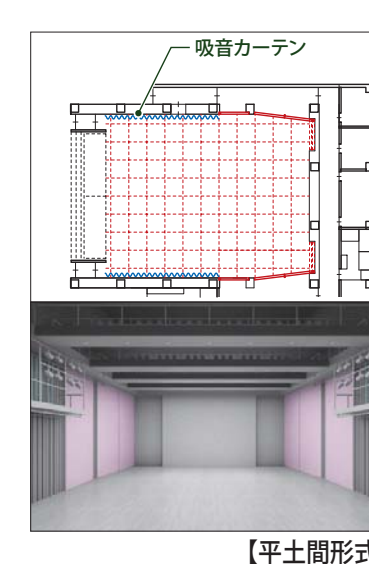
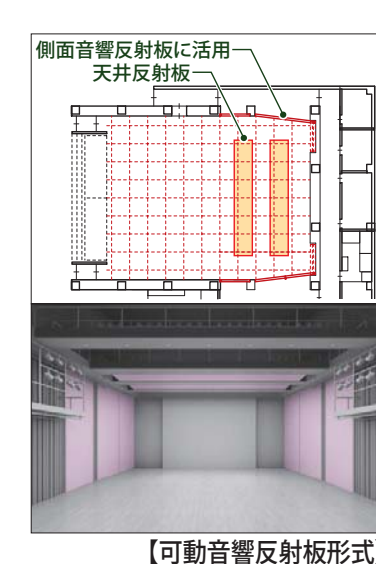
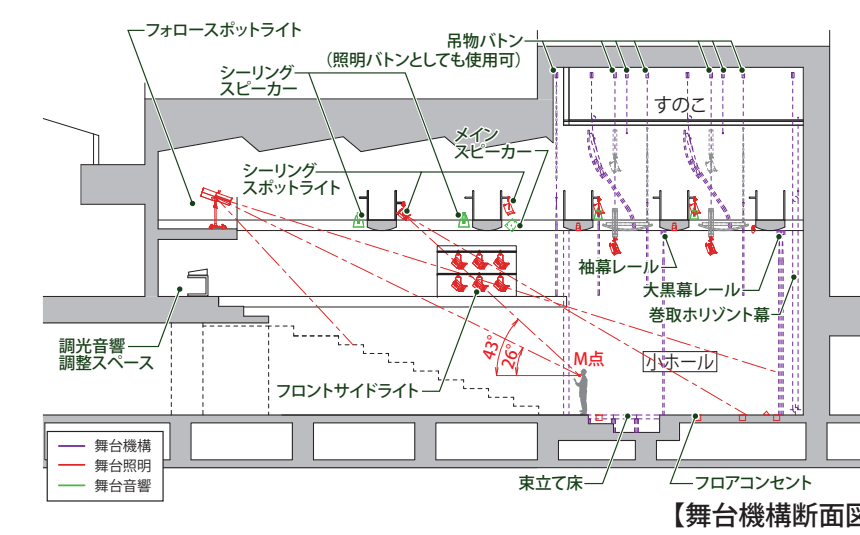
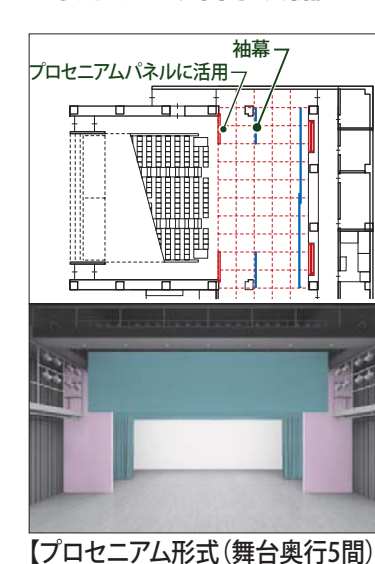
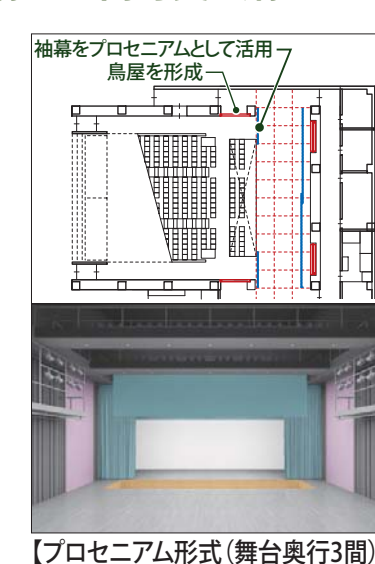


2. 小ホール



プロセニウム形式や音響反射板形式などの空間可変で、多様な市民の多彩な芸術文化創造活動を支える「ステージ」

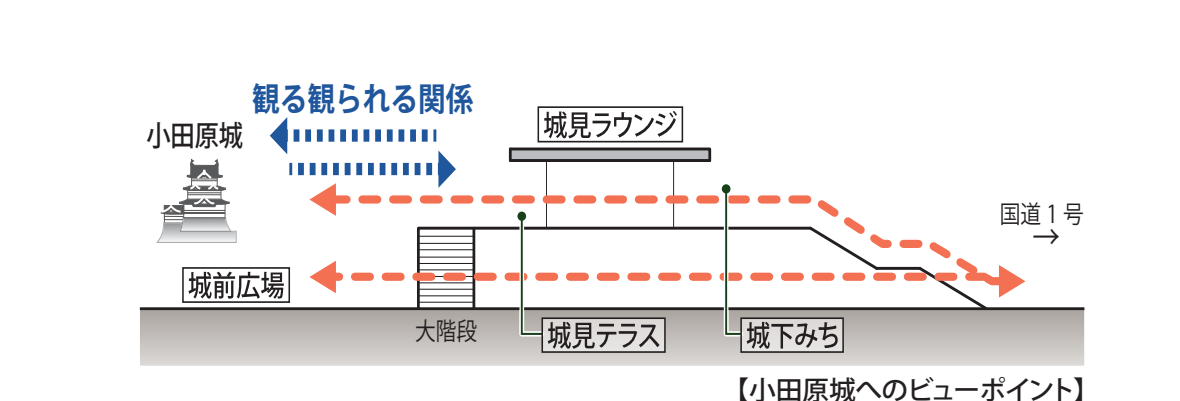
- 変幻自在の客席空間
- 多様な市民ニーズにこたえるホール空間
- オープンロビーとつながるホワイエ空間
- 使いやすさを追求したバックヤード
- 用途に即した音環境の創出
- 多様な空間可変と、様々な公演利用に対応する舞台設備



6. 城見テラス・城見ラウンジ

小田原城の向かいに、新たな賑わいの「場」を作りだし、市民の豊かな日常を創る「ステージ」

- まちの特等席となる城見テラス
- まちの風景を豊かにする城見ラウンジ
- 賑わいを紡ぐ新たな都市軸「城下みち」
- 将来的な歩行者ネットワークの構築



7. 城前広場

日常的には市民の憩いの「場」として、イベント時にはハレの「舞台」として、賑わいを生み出す「ステージ」

- まちの舞台となる城前広場
- 芝生や木陰、テラスによる憩いの広場
- 多様なイベントに対応
- お堀端通りと一体的な景観を形成

